

千葉県

定数：13名

立候補者数：15名



氏名 小林 好信
氏名ふりがな こばやし よしのぶ
都道府県士会 千葉県
年齢 52
勤務先名称 千葉医療福祉専門学校

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2023年7月～2025年6月 千葉県理学療法士会理事 生涯学習局長
2025年7月～ 千葉県理学療法士会理事 副会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

第12回日本地域理学療法学会学術大会準備委員

立候補の趣旨

私はこれまで、千葉県理学療法士会の理事として学術局・生涯学習局を担当し、現在は副会長として生涯学習および学術領域を所掌してまいりました。これらの活動を通じ、理学療法士の専門性を高め社会に還元すること、また協会活動を現場の実践や地域課題に結びつけることを意識し、取り組んできました。

こうした経験から、私は協会と都道府県士会、そして現場の理学療法士をつなぐ「翻訳者」「媒介者」としての役割が、代議員には不可欠であると考えています。協会の施策を地域に伝えると同時に、現場の課題や実践知を協会の議論や政策提言へ還元する双方向の循環を築くことが重要です。さらに、運動器・地域・精神心理・管理といった複数の専門領域に関わり、学術大会運営にも携わってきました。これらの経験を通じ、理学療法士の専門性は分野横断的な連携によってこそ、より大きな社会的価値を発揮できると確信しています。

日本理学療法士協会の理念を「地域で実感できる価値」へとつなげていく。現場を知る理学療法士として、また士会運営に携わってきた経験を生かし、世代を超えて会員が前向きに関与できる協会の実現に向け、責任をもって代議員の職務を全うする所存です。



氏名 藤川 孝彦
氏名ふりがな ふじかわ たかひこ
都道府県士会 千葉県
年齢 58
勤務先名称 国際医療福祉専門学校

日本理学療法協会活動歴

2016 ～ 日本理学療法士協会 代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2012 ～ 2013 千葉県理学療法士会 事務局総務部部長
2013 ～ 2022 千葉県理学療法士会 理事

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

2025年問題から2040年問題を迎えるにあたり本邦では多くの課題が予想されています。これまで社会に貢献できる理学療法士を養成する教員の立場から、理学療法対象者・関係機関との繋がりを意識した後進を育成するように務めてきました。これらをより深化・醸成していくには協会と士会の繋がりが密になる組織体制が必要と考えます。その一助となればと微力ではありますが、会員の皆様に寄与できるよう代議員に立候補します。



氏名 大住 崇之
氏名ふりがな おおすみ たかし
都道府県士会 千葉県
年齢 46
勤務先名称 けやきトータルクリニック

日本理学療法協会活動歴

2024年～ 日本理学療法士協会代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2023年～ 千葉県理学療法士会理事
2025年～ 千葉県理学療法士会事務局長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2021年～ 日本地域理学療法学会評議員

立候補の趣旨

私は2023年より千葉県理学療法士会理事を拝命し、2025年からは事務局長として県士会運営に携わってまいりました。また、現在の職場が所在する市においては、行政と協働し、介護予防をはじめとした地域包括ケアに資する事業に継続的に取り組んでいます。現場で得られる課題や実践知は、地域や職域を越えて共有されるべき重要な資源であると考えています。

今後は、千葉県理学療法士会としての立場から、現場や地域の実情を踏まえた意見を日本理学療法士協会へ的確に届けるとともに、協会から発信される制度・方針・最新情報を、分かりやすく千葉県へ還元する「双方向の橋渡し役」を果たしたいと考え、代議員に立候補いたしました。

千葉県士会および日本理学療法士協会の健全な運営と、理学療法士の社会的価値のさらなる向上に貢献できるよう、責任をもって職務に取り組む所存です。皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



氏名 薄 直宏

氏名ふりがな うすき なおひろ

都道府県士会 千葉県

年齢 53

勤務先名称 東京女子医科大学附属八千代医療センター

日本理学療法協会活動歴

平成26年度～	現在	代議員
令和4年6月～	現在	卒前卒後教育シームレス化検討部会員
令和7年4月～	現在	産業保健・人間工学推進リーダー制度構築部会員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成11年4月～18年3月		東京都理学療法士会	総務部員
平成23年6月～	現在	千葉県理学療法士会	理事
平成25年6月～令和7年6月		千葉県理学療法士会	副会長
令和7年6月～	現在	千葉県理学療法士会	会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

平成25年12月～令和3年6月		日本理学療法教育学会	運営幹事
令和3年6月～	現在	日本理学療法教育学会	理事

立候補の趣旨

私は現在、千葉県理学療法士会の会長として、「関わりやすく、参加しつながら、自身のキャリアがひろがる」士会活動を目指し、会員への情報発信や組織運営に取り組んでおります。特に20代を中心とした若い会員が一步踏み出しやすい環境づくりを意識し、主催者側・企画側として関わる仕組みづくりを進めております。また、日本理学療法教育学会では理事として、臨床と教育の橋渡しを担う立場から、学術集会の企画・運営や教育体制に関する議論・提言に関わっております。現在、日本理学療法士協会は、生涯学習を柱とした卒前・卒後教育体制の充実や、産業保健・母子保健・学校保健の推進など、理学療法士の質を高め社会に還元していく職能の拡大という転換期にあります。新卒理学療法士の量的拡大と質の担保をどのように両立させ、経験の浅い理学療法士を次世代の担い手として育てていくかは喫緊の課題です。

このような変革の時代において、私は代議員として、協会に所属する意義を若い世代にも実感できる形で伝え、現場で働く会員の声を協会の議論や施策に反映させる「つなぎ役」となることを大切にしたいと考えています。

私自身、20代から士会・協会活動に関わる中で多くの出会いや学びに支えられてきました。その経験を次の世代へとつなげ、会員が「関わってよかった」と感じられる協会づくりに、代議員として貢献していきたいと考えております。



氏名 竹内 真太

氏名ふりがな たけうち しんた

都道府県士会 千葉県

年齢 40

勤務先名称 国際医療福祉大学成田保健医療学部

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2025年6月－現在：千葉県理学療法士会 生涯学習局 局長
2023年6月－現在：千葉県理学療法士会 卒前卒後教育連携推進委員会 委員長
2023年6月－現在：千葉県理学療法士会 理事
2023年6月－2025年6月：千葉県理学療法士会 生涯学習局 局次長
2019年8月－2023年6月：千葉県理学療法士会 臨床実習指導者講習会検討委員会委員
2013年8月－2016年3月：静岡県理学療法士会 社会局調査部部長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2023年6月－現在：日本理学療法管理学会 理事
2022年6月－現在：日本理学療法学会連合 国際委員会委員
2021年10月－2023年6月：日本理学療法管理研究会 理事
2021年4月－2021年9月：日本理学療法管理研究会 運営幹事・評議員
2019年10月－2021年3月：日本理学療法士学会管理部門 協力員

立候補の趣旨

私は、都道府県士会と学会連合の双方における活動経験を活かし、会員の声を協会運営に反映させる架け橋となることを目指し、代議員に立候補いたします。千葉県理学療法士会では生涯学習局長・卒前卒後教育連携推進委員会委員長として、会員の学びの質向上と教育の連続性確保に取り組んでまいりました。また、日本理学療法管理学会理事および学会連合国際委員会委員として、理学療法士の組織運営能力の向上や国際的視野を持った活動にも携わっております。千葉県・静岡県の2県での士会活動経験を通じ、地域ごとの課題や実情が異なることを実感してまいりました。この経験を踏まえ、各地域の声を全国的な政策立案に反映させることに貢献いたします。会員の皆様の負託に応えるべく、現場の声を大切にしながら、理学療法士の社会的地位向上と職能団体としての発展に尽力する所存です。



氏名 佐藤 正司
氏名ふりがな さとう まさし
都道府県士会 千葉県
年齢 50
勤務先名称 帝京平成大学

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2025年度から現在 (社)千葉県理学療法士会 代議員
2025年度から現在 (社)千葉県理学療法士会 市原ブロックコアメンバー

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2025年度から現在 日本地域理学療法学会 代議員

立候補の趣旨

私は、佐藤正司（さとうまさし）と申します。現在、帝京平成大学 千葉キャンパスで理学療法教員として勤務しております。この度、日本理学療法士協会代議員選出選挙に立候補させていただきます。

私が立候補を決意した理由は、理学療法の発展と地域社会への貢献をより一層深化（進化）したい、と考えたからです。自分自身の経験を活かし、協会の活動を通じて、理学療法士の地位向上や、理学療法士が関わる地域での活動・支援の普及に努めて参りたいと考えています。また、他理学療法士の先生方の意見や想いを協会運営に反映させることも重要だと考えております。現場のお声を集め、共有することで、より実践的で効果的な施策を実現したいと思っております。

当選した際には、以下の目標を掲げて活動して参ります：

- ・理学療法士の専門性向上のための研修プログラムの充実
- ・地域住民への健康教育の推進
- ・学会の活動を通じた地域支援活動の質の向上

私は、理学療法士としての経験と情熱を持って、協会の発展に貢献したいと強い意志を持って参ります。また、先生方の想いを運営に反映させていきたいと思っております。どうぞ、皆様のご支持を賜りますようお願い申し上げます。



氏名 松田 徹
氏名ふりがな まつだとおる
都道府県士会 千葉県
年齢 51
勤務先名称 亀田リハビリテーション病院

日本理学療法協会活動歴

2019年～2023年 1億円プロジェクト委員会委員
2020年～2021年 代議員
2024年～ 代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2008年～2012年 学術企画部長
2012年～2021年 学術局担当理事
2016年 第21回千葉県理学療法士学会準備委員長
2018年～2021年 養成校ネットワーク推進委員会委員長
2021年～2022年 事務局次長
2022年 第28回千葉県理学療法士学術大会大会長
2023年～2025年 事務局長
2025年～ 副会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2022年～ 日本理学療法管理学会理事
2024年 第7回日本理学療法管理学会学術大会大会長

立候補の趣旨

亀田リハビリテーション病院の松田と申します。これまで日本理学療法士協会および千葉県理学療法士会の各種事業や運営に携わり、学術活動の推進、組織運営、若手育成などに取り組んでまいりました。
現在、入会率の低下や退会者の増加による組織率低下は、協会・県士会双方にとって大きな課題となっています。こうした状況の中で、会員にとって魅力ある組織づくりを進め、参加し続けたいと思える環境を整えることが重要だと考えております。
これまでの経験を活かし、現場の声を大切にしながら、組織力の強化、理学療法士の地位向上、若手の育成と職域拡大に貢献してまいります。微力ではございますが、責任をもって代議員としての役割を果たしてまいりますので、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



氏名 田中 康之

氏名ふりがな たなか やすゆき

都道府県士会 千葉県

年齢 61

勤務先名称 千葉県千葉リハビリテーションセンター

日本理学療法協会活動歴

1999年5月～2003年5月	保健福祉部部員
2013年6月～2014年6月	予防理学療法検討特別委員会委員
2014年6月～2015年6月	職能関連業務執行委員会委員
2015年6月～2017年6月	オリ・パラ対策本部委員
2017年6月～2019年6月	災害時支援システム検討委員会委員
2019年6月～2020年6月	グランドデザイン検討委員会委員
2014年4月～2024年3月	代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

1998年7月～2004年6月 社会局地域保健福祉部部長／
2011年7月～2024年3月 理事／2014年7月～2025年6月 会長／
2025年7月～監事
第20回千葉県理学療法士学会会長／第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2012年～2021年 日本地域理学療法学会 学会運営理事
第2回／第5回／第12回 日本地域理学療法学会学術大会長

立候補の趣旨

これまで12年間、協会代議員を務めさせていただきました。この間は県士会長としての任も担っており、県士会運営の視点から、協会の活動や運営を考える機会が多かったと感じています。

現在は県士会監事として、より客観的な立場で県士会運営に関わっています。その立場に加え、これまで培ってきた経験、医師会をはじめとする他団体との連携、県行政や議員の方々との関係を通じて得た知見を踏まえると、協会のあり方や理学療法士の将来に対し、これまでとは異なる視点から貢献できるのではないかと考えるようになりました。

また、日本地域理学療法学会の理事として活動する中で、だからこそ見えてくる協会の課題や理学療法士の将来像があります。これらの経験を基に、協会活動に還元したいと考えています。

「老兵は引っ込んでいられる」と言われるかもしれませんが、しかし、今の立ち位置だからこそ見えてくる将来への危惧を看過することはできず、今回、立候補を決意いたしました。



氏名 保科 憲幸
氏名ふりがな ほしな のりゆき
都道府県士会 千葉県
年齢 43
勤務先名称 八千代リハビリテーション病院

日本理学療法協会活動歴

なし

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2020年度～2022年度 千葉県理学療法士会 千葉ブロック副ブロック長
2025年度～ 千葉県理学療法士会 東葛南部ブロックコアメンバー
第25～26回千葉県理学療法士学会 準備委員会（広報局）

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

現在千葉県内のリハビリテーション病院に勤務しております。これまで3期にわたり、千葉県理学療法士会の代議員として、会員の皆様と士会をつなぐ架け橋となれるよう活動してまいりました。

日本理学療法士協会の代議員としては今回が初めての挑戦となります。県士会での経験を活かし、協会の大きな動きを現場の皆様により身近に感じていただけるよう、丁寧な橋渡しをしたいと考えています。

私は「仕事をするなら楽しく」という思いを大切にしています。現場の皆さんが前向きに、やりがいを持って働ける環境づくりに少しでも貢献できれば幸いです。全国規模の活動については学びながらのスタートとなりますが、千葉の声をしっかりと届けていく所存です。

皆様と一緒に、理学療法士の未来を少しずつ良いものにしていければ嬉しいです。



氏名 藤井 顕
氏名ふりがな ふじい あきら
都道府県士会 千葉県
年齢 62
勤務先名称 介護老人保健施設百寿園

日本理学療法協会活動歴

平成22年度から現在 日本理学療法士協会代議員
令和3年度から現在 日本理学療法士協会表彰委員会委員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成12年度～現在 千葉県理学療法士会理事
平成25年度～現在 千葉県理学療法士会表彰検討委員会委員長
平成26年度 第33回関東甲信越ブロック学会学術局長
平成27年度～現在 千葉県理学療法士会理学療法士講習会推進委員会委員長
平成29年度～令和5年6月 千葉県理学療法士会学術局長
令和7年度～現在 千葉県理学療法士会生涯学習局担当理事

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

理学療法士の資質の向上、専門分野における職能的水準の引き上げ、積極的な生涯学習への参加が進む一方で、多様化するニーズに応える理学療法士の活躍が求められており、期待される理学療法士の発展と社会的地位向上のため、そして、これからの理学療法士として活躍される会員のためにも、代議員の1人としてできることを目指し、努めてまいりたいと考えています。



氏名 泉水 泰良
氏名ふりがな せんずい たいら
都道府県士会 千葉県
年齢 36
勤務先名称 船橋市リハビリセンタークリニック

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

令和6年度～ 千葉県理学療法士協会 介護予防推進部 部員

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

今後の理学療法士の職能を展望する上で、地域包括ケアシステムの深化と、その中核をなす「予防」への主体的な関与は極めて重要な課題である。私は、訪問リハビリテーションの運営管理に携わる傍ら、士会活動を通じて地域包括ケアの根幹を支える専門職の育成、特に介護予防推進リーダーの養成と指導に邁進してきた。

こうした育成活動や現場でのマネジメント経験を通じ、理学療法士による専門的な評価と効果的なプログラム提供が、住民の自立支援において代替不能な価値を持つことを強く実感している。地域共生社会の実現に向け、自らの努力による自助、協働による互助、保険制度による共助、公的支援による公助をシステムチックに機能させる必要がある。予防理学療法による健康寿命の延伸や重度化防止を、我々は国家的な使命として成し遂げていかなければならない。

本会は会員数の急増により組織としては拡大したが、職域の確保と質の向上という本来的目的においては、未だ多くの課題を抱えている。特に、物価高騰や他産業との賃金格差が深刻化する中、専門性に見合った処遇改善は最優先事項である。私は代議員として、現場で培った予防と在宅リハビリテーションの知見を基に、2026年度診療報酬改定における疾患別リハ料の10%以上の引き上げ、および実質賃金5.5%以上の賃上げの実現を強力に後押しする。

制定から約60年が経過した資格法の改正を見据え、予防領域での理学療法士の活用を制度として確立させ、次世代が誇りを持って働き続けられる環境を整備することが、本会の責務であると確信している。この歴史的な転換期において、千葉県所属会員の代表として、理学療法の未来を切り拓く確固たる起点となるべく、不退転の決意で取り組む。



氏名 室井 大佑
氏名ふりがな むろい だいすけ
都道府県士会 千葉県
年齢 46
勤務先名称 千葉県立保健医療大学健康科学部

日本理学療法協会活動歴

日本理学療法士協会代議員 2024. 5～現在に至る

都道府県理学療法士（協）会活動歴

千葉県理学療法士会企画研修部部員 2017. 4～2021. 3
千葉県理学療法士会企画研修部部長 2021. 4～2025. 11
千葉県理学療法士会理事（生涯学習局） 2025. 6～

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

2024年より日本理学療法士協会の代議員を務め、
2025年からは千葉県理学療法士会の理事を拝命いたしました。
今後は、とくに生涯学習制度や協会入会促進に関する千葉県士会員の声を丁寧に集約し、
現場の実情を協会運営に反映させることで、日本理学療法士協会の
さらなる発展に貢献してまいりたいと考えております。



氏名 飯山 大介
氏名ふりがな いいやま だいすけ
都道府県士会 千葉県
年齢 35
勤務先名称 船橋市立リハビリテーション病院

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

令和6年度～ 千葉県理学療法士会 代議員
令和6年度～ 千葉県理学療法士会 東葛南部ブロック 職能部

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

現在、私たちの協会は重大な岐路に立っています。入会率の低下に対し、これまで様々な施策が講じられてきましたが、現場の会員がその恩恵を実感できているとは言い難い状況です。特に若手会員の間では、協会は「生涯学習の場」という認識に留まり、本来の職能団体としての役割である、私たちの生活や権利を守り、専門職としての地位を確立することが十分に浸透していません。この現状に、私は強い危機感を抱いています。

理学療法士協会は、質の高いサービスを通じて社会に貢献し、その成果に見合った適切な報酬と社会的評価を会員に還元するための「職能団体」であるべきです。しかし現状では、活動の成果が可視化されにくく、会員が「入会する価値」を実感しづらい構造になっています。この「成果の不透明さ」を解消し、社会貢献が正当に評価される仕組みを構築することが組織の求心力を取り戻す鍵だと確信しています。

私は現在35歳であり、会員構成のボリュームゾーンに属しています。高齢者医療需要がピークを迎える2040年、私は現役世代の中核にいます。自分たちの未来、そして後に続く後輩たちが希望を持てる職域を死守することは、私にとって決して他人事ではない、切実な当事者課題です。

若手の声を政策に反映させ、ベテラン層が築いてきた基盤を次世代へ着実につなぐ。理学療法士が専門性を存分に発揮し、それに見合った評価を得られる未来を創るため、代議員として全力で努力いたします。



氏名 小河 一彦
氏名ふりがな おがわ かずひこ
都道府県士会 千葉県
年齢 45
勤務先名称 八千代リハビリテーション病院

日本理学療法協会活動歴

なし

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2020年～2022年 山口県理学療法士会 福利厚生部 部長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

なし

立候補の趣旨

千葉県内の回復期リハビリテーション病院にて、リハビリテーション部門の統括管理を行っております。長年、組織運営に携わる中で、昨今の診療報酬改定の厳格化や人材不足など、現場を取り巻く環境が年々厳しさを増していることに強い危機感を抱いております。

日本理学療法士協会という巨大組織が、これら現場の課題に対して適切に対応し、理学療法士という職業が、将来にわたり社会的評価を得続けられるよう尽力する事が、代議員の最大の責務であると考えています。

本会の健全な運営と、会員が守られる組織づくりのため、職務を全うする所存です。何卒、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



氏名 竹島 健太
氏名ふりがな たけしま けんた
都道府県士会 千葉県
年齢 35
勤務先名称 新松戸中央総合病院

日本理学療法協会活動歴

2025年度 (社)日本理学療法士協会 代議員

都道府県理学療法士(協)会活動歴

活動歴なし

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2025年度～ 日本がん・リンパ浮腫理学療法学会 保険収載検討委員会

立候補の趣旨

この度、2026・2027年度日本理学療法士協会代議員選挙に立候補いたしました。私は2025年度より代議員を務め、協会運営に関わる中で、理学療法士を取り巻く環境が大きく変化していることを改めて実感しております。現在、地域の急性期病院に勤務し、臨床12年目を迎えました。臨床に多くの時間を費やしてきたからこそ、制度の変化が患者支援の質に直結する場面を経験してきました。日々の診療を通して得られる現場の実感は、協会が進める制度設計や研修体系の議論において、欠かすことのできない視点であると感じています。また、2025年度途中からは日本がん・リンパ浮腫理学療法学会の保険収載検討委員会に所属し、がん領域やリンパ浮腫領域における理学療法の価値を社会に適切に届けるための議論に携わることとなりました。エビデンスと臨床の実態を結びつけながら、理学療法士の専門性が制度の中で正当に評価される仕組みづくりの重要性を強く感じています。理学療法士を取り巻く環境は今後も変化し続けます。だからこそ、現場で働く理学療法士が安心して学び続け、専門性を発揮し、地域や医療現場で必要とされる存在であり続けるための協会運営が求められていると考えています。私は、これまで臨床で積み重ねてきた経験と、代議員として得た視点を生かし、現場の声を丁寧に拾い上げながら、協会の方向性が実際の臨床にとって実効性のあるものとなるよう努めてまいります。引き続き、理学療法士が社会の中で価値を発揮し続けられる環境づくりに貢献したいと考え、今回立候補いたしました。皆様のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。